

# 吹田市議会議員

# いけぶち佐知子 通信

NEWS未来にまっすぐ

2014年 No.1

〒565-0851 吹田市千里山西5-2-5 TEL&FAX 06-4861-7418

## 二元代表制を考える

一月二日、吹田市の出初式を欠席して、朝から近鉄電車に乗って松阪市に行きました。

松阪市で開催の議会事務局研究会の第三回シンポジウムに参加するためです。

「二元代表制を考える」議会及び事務局体制強化策について」というタイトルで、

第一部は元三重県議会事務局次長の高沖さんの基調講演

第二部は大西熊本県議会議員、議会事務局実務研究会の吉田さん、梅村神戸市会事務局局長、国立国会図書館の渡邊さん、立命館大学教授の駒林さんとそうそうたるメンバーによるパネルディスカッションでした。

パネルディスカッションは単に話を聴くだけでなく、話を聴いてグループでディスカッションするという会場全体参加型のものでした。

私の入ったグループでは、話し合いの結論として、次のような結果に至りました。

「議員と議会事務局職員は互いに信頼関係を築き、コミュニケーションをとって二元代表制の一翼を担う

議会として、首長と対峙して」と

\* 二元代表制とは、市長と議会議員が両方とも住民から選挙により選ばれるということを指します。

つまり市長と議員はそれぞれが住民の代表ということですが、一方、国会では、国会議員が首相を選びますので二元代表ではありません。

また、パネルディスカッションのあと、一参加者として参加して下さっていた法政大学教授の廣瀬さんから、次のようなお話がありました。「職員になったからには、執行部だけでなく議会事務局職員として働くことで、住民の福祉目的とする二元代表制の両方に勤めることになる」

議会事務局に勤めた職員さんも、「議会事務局は楽しい職場です。その理由は、いろんな議員がいろいろな仕事ができるから」と言われていました。

議会が首長に対峙する二元代表制の一翼として働くために、議会事務局職員の働きは不可欠だということだと思います。

## いけぶち佐知子のプロフィール

1957年 和歌山県生まれ。

1979年 大阪大学薬学部卒業。薬剤師。

1994年 吹田市立女性センター（現 男女共同参画センター）の非常勤職員として再就職。

自宅マンション裏の開発問題をきっかけに、市政に関心を持つ。

市民のための政治を求め、吹田市議会議員選挙に立候補。

1999年4月 初当選。現在、吹田市議会議員（4期目）。

環境、福祉、まちづくりの市民団体に所属し、市民活動にも励んでいる。



しっかり市民派 ずっと無党派

いけぶち佐知子公式WEBサイト <http://ikebuchi.voicejapan.net/>